

社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

ふれあいねっと

社協だより第27号

10
分間でどっまで高く積み上げられるか!!



慎重に、
慎重に、

「福祉事業所職員対抗スポーツ大会」 P.3 関連記事掲載!

〒981-0504 宮城県東松島市小松字上浮足252-3(老人福祉センター内)

総務課

TEL 83-2851 FAX 83-4561

介護保険事業所(居宅介護直通)

TEL 25-4312 FAX 25-4336

(訪問介護直通)

TEL 83-2904 FAX 25-4336

社協生活復興支援センター

TEL 83-5001 FAX 82-9813

地域福祉課・ボランティア市民活動センター

TEL 83-2717 FAX 82-9813

地域包括支援センター

TEL 83-1966 FAX 90-3227

東松島市社協

「特別会員・賛助会員」のご紹介

東松島市社協では、皆様からの会費等の財源をもとに、様々な福祉事業に取り組んでいます。皆様といっしょに心豊かな「福祉のまちづくり」を進めて参ります。

(平成25年11月1日～平成26年1月31日受付分まで)
(敬称略)

●特別会員 (10 5,000円)

3 〇 有限会社矢本第一衛生

●賛助会員 (10 3,000円)

3 〇 有限会社矢本第一衛生

平成25年度累計

(平成25年4月1日～平成26年1月31日)
特別会員 47件 545,000円
賛助会員 44件 211,000円

あたたかい善意

ありがとうございました

「福祉に役立てて下さい。」と、ご寄付を頂いてありがとうございます。心温まるご協力に対し、紙上より御礼申し上げます。

(平成25年11月1日～平成26年1月31日受付分まで) (敬称略)

社協法人本部への寄付金

吉田 寛

20,000円

J A いしのまき女性部矢本地区

20,000円

佐々木よし子

50,000円

匿名

100,000円

匿名

30,000円

《物品の寄贈》

中谷 公一

シャワーチェア・血圧計

東日本大震災対応寄付金

社協生活復興支援センター活動経費等に使用させていただきます。

(平成25年11月1日～平成26年1月31日受付分まで) (敬称略)
東御民間介護・福祉事業所連絡会

代表 翠川昌博

15,365円

おん祭美濃加茂実行委員会

47,857円

受賞 おめでとうございます!!

宮城県社会福祉大会受賞者

平成25年11月5日(火)、仙台サンプラザホールを会場に「宮城県社会福祉大会」が開催されました。その席上、永年にわたり地域福祉にご功績のありました個人・団体が各賞を受賞しました。

(敬称略)

《宮城県社会福祉功労者知事表彰》

下区ボランティアアソシエス会

日本赤十字奉仕団東松島市

さくら会

《宮城県社会福祉協議会福祉事業功労者表彰》

宮城いきいきこでまり会

土井 和幸

《宮城県民生委員児童委員協議会会長表彰》

宮川 康夫 石垣 優子

千葉 勝弘 香川 栄子

奥田登美子 尾形たみ子

宮城県共同募金会

赤い羽根大会受賞者

平成25年11月22日(金)、イズミティ21を会場に「宮城県共同募金会 赤い羽根大会」が開催されました。東松島市からは奉仕功労者として6人が受賞しました。行政区長として、また奉仕員として、10年以上もの長い間、地元における福祉活動に携わり、共同募金の推進に大きく貢献していた

(敬称略)

《宮城県共同募金会会長表彰 奉仕功労者》

阿部 勇 佐藤 充信 菅原 俊夫

宮里 龍元 佐藤 新孝 櫻井 清一



東松島市社会福祉協議会は市民の皆さんと共に

平成26年度から「策定委員会」がスタートします

『東松島市地域福祉活動計画』を策定します

これまで「福祉サービス」は、特定の人のためのものと思われがちで、高齢者や障がい者などが対象というイメージを持たれている人が多くおられました。

しかし、誰もが病気になったり、介護が必要になったり、子育てで悩んだり、日頃の生活の中で手助けが必要になる時があります。そんな時に、行政や公的な機関による施策やサービスだけでなく、お隣近所の住民同士や地域の福祉活動団体、ボランティアなど地域に関わる方たちが協働して支援を必要としている人を支え、誰もが住みなれた地域で自分らしく暮らしていくための『地域福祉』の仕組みづくりが求められてきています。

東松島市社協では、今後の被災者支援と住民主体による地域福祉の取り組みを更に進めるため、その活動の指針となる『東松島市地域福祉活動計画』を策定することとし、市民の代表の方で構成する「策定委員会」をスタートします。



ともに支えあう自立に向けて!!

福祉事業所職員対抗スポーツ大会

今回はスポーツ大会という形で交流を図りましたが、今後はスポーツ大会を含め、様々な形で福祉事業所間での交流を図れるよう計画していきたいと思っています。



市内福祉事業所職員大集合～★

競技後は応援に駆け付けた職員を含め、みんなで手をとってマイムマイムやタタキの曲に合わせたフォークダンスで更に親交を深めました。

昨年度に引き続き3回目の開催となりました（平成23年度は震災の影響により中止、平成24年度は講演会を開催）。

大会には11か所の事業所、約50人が参加。スポーツ推進員の実演指導のもと、缶積みやスリッパ飛ばし、ストラックアウトの3種目で合計点数を競いました。缶積みでは慎重に積み上げている途中で「ガッシャー」と何度も体育館中に崩れる音が響き渡っていました。皆さん各競技を楽しんでいたようでした。



的に狙いを定めてストラックアウトへ

平成25年11月10日（日）、小野地区体育館を会場に「福祉事業所職員対抗スポーツ大会」が開催されました。東松島市に拠点を置く、高齢者や障がい者支援事業所間の交流を目的とした事業で、

東松島市社会福祉協議会役員研修会



平成25年11月18日（月）11月19日（火）にかけ、福島県内で東松島市社協役員研修が行われました。事務局から役員に対し「今後の被災者支援計画」、被災者支援と超高齢化に対応した「東松島式 地域包括ケアシステム（案）」、「地域包括支援センターについて」を説明後、役員間での意見交換が行われました。今後の社協が目指す被災者支援等のあり方や、現在の課題について考える良い機会となりました。

よく分かるシリーズ!

実はよく知らない・・・ **社 協** ってなあに？

市民の皆様にもっと社協を知っていただき、ご理解いただくために「社協の役割と機能」についてQ&A方式でご紹介しています。

Q1:よく「福祉六法」という言葉を耳にしますが、何のことですか。

A1:福祉の施策や事業の対象となるものを大別すると、六分野に分類されるようですが、それぞれについて、基本的な事項を定める法律があります。これが、いわゆる「福祉六法」です。以下、簡単にそれらの法律の目的を記します。

- ①「生活保護法」↓生活困窮者に、程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障し、自立を助長するため《憲法第25条具現化》
- ②「児童福祉法」↓児童が、心身ともに健やかに育成され、生活を保障され、愛護されるため
- ③「身体障害者福祉法」↓身体障害者の更生を援助し、必要な保護を行い、生活安定に寄与し、福祉の増進を図るため
- ④「知的障害者福祉法」↓知的障害者の更生を援助し、必要な保護を行い、福祉の増進を図るため
- ⑤「老人福祉法」↓老人が敬愛され、心身の健康保持と生活安定により、福祉の増進を図るため
- ⑥「母子及び寡婦福祉法」↓母子家庭及び寡婦の生活安定と向上により、福祉の増進を図るため（各法条文から抜粋）

これら各法の共通的基本事項や社会福祉事業の趣旨を規定した「基本法的性格」をもつものが、「社会福祉法」です。

Q2:すると、福祉の仕事は、法に基づいて行政（市役所等）がすることになるのではないのでしょうか。

A2:いいえ、行政と民間が手を結んで、それぞれの立場で行うことが大切です。

地域社会の中に生きる人すべてが幸せになるためには、法令で行政がやることになっているものは、大いにやつてもらわなければなりません。それと同時に住みよい社会は、社会に生活している私たち皆がつくっていくものです。心のかよふ福祉が求められている今日こそ、他に頼る前に、地域に生きる私たち自らの手で、すなわち民間の立場で、より福祉を高めていかなければなりません。

昨年行われた募金運動では、皆様からの心温まる善意により多大なる募金が寄せられました。ご協力下さった方々に心より感謝いたします。

赤い羽根共同募金運動（10月1日～12月31日）

区 分	戸別募金	学校・幼稚園募金	その他の募金	合 計
募金額	3,525,610円	39,351円	80,936円	3,645,897円

赤い羽根募金は、すべて宮城県共同募金会に送金し、要望のあった地域で活躍する団体へ助成金として配分され、老人福祉・福祉教育・ボランティア活動等、様々な福祉活動に役立てさせて頂きます。

また、大規模な災害が起こった際のそなえとして、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われており、東日本大震災でも使われました。

◎学校や家庭で募金を集めて窓口においでになった方々です。

その他・窓口募金箱 3、936円 (敬称略)	赤井南小学校 3、987円	野蒜小学校 3、246円	しるばと児童会 4、000円	大曲小学校 1、255円	宮戸小学校 4、044円	赤井小学校 1、048円	矢本西小学校 1、346円	矢本はなぶさ幼稚園 1、500円	まちづくり協議会 5、000円	阿部宣子 1、000円	小野たつ子 1、000円	津田詔子 1、000円	児島俊治 1、000円
------------------------------	------------------	-----------------	-------------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	---------------------	--------------------	----------------	-----------------	----------------	----------------

▶毎年、歳末たすけあい募金にご協力いただいている航空自衛隊松島基地様



ご協力ありがとうございました。

フィリピン募金の報告
昨年発生した台風30号により、甚大な被害を受けたフィリピンへの募金に、多くの方からご協力いただきました。東松島市社会福祉協議会が設置した募金箱や窓口にお寄せいただいた募金は、総額で47、861円でした。この募金は、宮城県共同募金会、中央共同募金会を通じて、フィリピンで活動している支援団体に贈られます。



平成25年度 共同募金運動 結果報告

募金総額 3,891,391円

歳末たすけあい運動 (12月1日～12月31日)

区 分	職域募金	その他の募金	合 計
募金額	58,830円	186,664円	245,494円

◎ 職場や家庭で募金を集めて窓口に来られた方々です。



頂いた募金は、
全額下記の市内
入所施設に配分
し、入所者の方が
年末年始に実施
する事業に活用
されました。

相澤正紘	30、000円
阿部邦男	2、000円
大塩小学校	4、600円
航空自衛隊松島基地	52、730円
清泰寺仏教婦人部	20、000円
清泰寺 小池康裕	30、000円
東松島ライオンズクラブ	100、000円
第4航空団整備補給群装備隊無線小隊員	6、100円
(敬称略)	

施設配分 市内の施設・22団体

245,494円

- | | | | |
|----------------------|---------|-----------------------|---------|
| (1)老人保健施設 さつき苑 | 30,000円 | (12)グループホーム 日和 | 5,000円 |
| (2)特別養護老人ホーム 矢本華の園 | 30,000円 | (13)グループホーム さざなみ | 5,000円 |
| (3)特別養護老人ホーム やもと赤井の里 | 30,000円 | (14)グループホーム やすらぎ | 5,000円 |
| (4)ケアハウス 花いちもんめ | 20,000円 | (15)グループホーム あさざり | 5,000円 |
| (5)ケアハウス はまなすの里 | 25,000円 | (16)第二共生園 | 20,000円 |
| (6)いずみの郷 | 5,000円 | (17)矢本愛育会ケアホーム「花みずき」 | 5,000円 |
| (7)お泊り処菜の花 | 5,000円 | (18)矢本愛育会ケアホーム「山ゆり」 | 5,000円 |
| (8)四季の里 | 5,247円 | (19)矢本愛育会ケアホーム「さくら」 | 5,000円 |
| (9)大曲花いちもんめ | 5,247円 | (20)矢本愛育会ケアホーム「ふじ」 | 5,000円 |
| (10)たんぽぽ | 15,000円 | (21)矢本愛育会ケアホーム「あさざり」 | 5,000円 |
| (11)託老所 のんびりすみちゃんの家 | 5,000円 | (22)矢本愛育会福祉仮設ホーム「きずな」 | 5,000円 |

「3.11からの歩み」現在の活動

・防災福祉学習カフェの開催

昨年12月19日、大曲市民センターにて様々な立場で地域活動に取り組んでいる方々を対象に、地域福祉活動や防災教育の活動紹介と共に情報共有の機会として「防災福祉学習カフェ・イン東まつしま」を開催いたしました。

防災・福祉学習は、住民一人ひとりの命と暮らしを守りながら「災害にも強い福祉のまちづくり」を実現し、地域の未来を担う人材を育てていくための、大切な取り組みです。今回は社協、学校がそれぞれの立場で今日まで実践してきた防災・福祉活動について活動報告しました。

愛媛県今治市社会福祉協議会 八木良太さんは「大人も子どもも一体となつての福祉学習の取り組み」、矢本第一中学校の千葉幹雄教諭は「震災時、東松島市立矢本第二中学校にて行っていた避難所運営と現在矢本第二中学校で実践している防災教育の取り組み」、東松島市社会福祉協議会は今年度始動した「子ども支援プロジェクトの活動報告」をそれぞれ行いました。

今回の防災福祉学習カフェは地域の民生委員や自主防災組織の方々、学校の教諭等日頃より防災の取り組みに携わっている多くの方々に参加していただき、事例発表後



防災福祉学習カフェの様子(上)と地域のオススメを教え合ったイチオシマップのワークショップ(下)

の交流時間の中でそれぞれの取り組み等の情報交換の場となりました。

また、東松島市子ども支援プロジェクトの中で今年度実施した「ひがしまつしまイチオシマップ」ワークショップを開催し、それぞれの地域のイチオシ(おすすめ)を共有する時間を設けました。「月観の松」や「矢本海浜緑地公園」「新山神社」「奥松島縄文村」から「人!」「自治組織」「定川の景観」など多くのイチオシを話し合いの中で教えていただきました。

「地域一体で取り組む防災・福祉学習」を目標に今後も今回のような機会を設けていければと思います。

・ひがしまつしまイチオシマップ

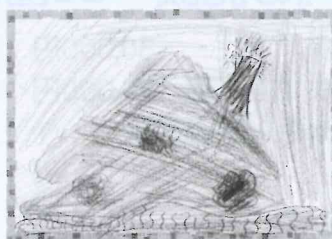
東松島市社会福祉協議会子ども支援プロジェクトの活動の中で、東松島市の子どもたちに市内の「イチオシ(おすすめ)」を絵や言葉で教えてもらいました。今年度は主に図書館や市民センター等でワークショップを開催しましたが、参加した子どもたちは地域の話を楽しくそうに話してくれました。また、子どもたちだけではなく保護者の方々も自身の幼少期の話を子どもと話す時間となっていたようです。

この活動の大きな目的として「地域資産の再発掘」があります。地域に住んでいる人や、思い入れのある場所など、子ども目線での日々の暮らしの中での発見や驚き、感動を伝えてもらうことができました。

子どもたちが描いた地域のオススメのほんの一部ですがわたしたちは日頃気づかないもの・見落としているものでも地域の特徴や地域の特別な資産がたくさんあります



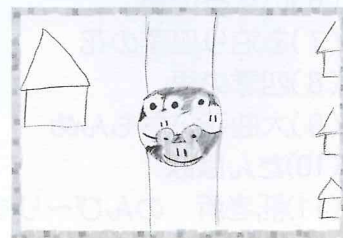
イチオシマップワークショップの様子(みんなで子ども夏まつりにて開催)



嵯峨溪の上に咲く特別天然記念物のセッコク



挨拶すると褒めてくれる交通安全のお婆さん



カエルの絵が描かれた矢本のマンホール

た。

東松島市の良いところを子どもたちから教えてもらい、改めて東松島市を知り地域に愛着を抱いてもらう機会となっていけばいいなと思います。

・かぜの子しんぶん(地域子ども新聞)の発行

東松島市社会福祉協議会では、昨年度より認定NPO法人アジア日本相互交流センターと連携し新東名での地域子ども新聞活動を実施してきました。主に小学校三年生の子どもたちで構成された「かぜの子新聞編集部」は子どもたちが自身が記者となり取材をし、原稿とイラストを描く手作りの新聞活動は地域の集会所を拠点に行われてい

社協生活復興支援センターだより

ます。そして地域の方々による取材交渉や取材のご協力の下、子どもたちの活動が成り立っています。

このかぜの子新聞は現在地域を離れている方々へも野蒜市民センターのご協力によりお届けしています。子ども目線の地域の変化や地域で活躍している人を紹介する内容も好評で新聞が届くのを待ちわびておられる方も。多くの方の新聞に対する声が日々子どもたちに届いており新たなやる気に繋がっています。

地元の市民センターや消防署、復活した牡蠣の加工場へ取材に行ったり、東名運河へやってくる白鳥のレポートをしたり、新たにできた避難路を紹介する等、地域内に多くの魅力的な場所や人の存在に気づくことができました。

また、新聞の活動を通じ子どもたちは新たに地区の夏祭りでも出店することができました。「何をやればみんな楽しんでくれるんだろう」「どうやってお店をやればいいんだろう」という会話から始まった、子どもたちで企画から準備そして当日の営業まで行った「輪なげ屋」は、小さな子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで楽しめる方法を考えた結果、あらゆる世代のお客さんに楽しんでもらうことができたようです。「地域の人たちのために子どもたちができる活動」は子どもたちの年齢とともに少しずつ成長していることを近くで見ている実感しています。

すべて手書きの新聞は読みにくいと思われる方もいると思います。しかし、子どもたちは少しずつ・読みやすい字で書くよう努力をする・取材の質問の内容が自然

な形になるよう順番を考える等、ひとりの情報を発信する記者としての自覚が芽生えてきています。

新聞記者である子どもたちが、楽しく地域の中で地域の変化や発見を発信する活動をわたしたち子ども支援プロジェクトではそつとサポートしていきたいと思っています。

もし、みなさんの元にかぜの子新聞の記者が取材に訪れた際には温かく迎え入れてあげてください。



A3サイズ両面のかぜの子新聞は子どもたちの絵と文字で毎号埋め尽くされています。

『Café(カフェ) はんどめいど』へようこそ

矢本東サポートセンターでは月に1度矢本運動公園仮設住宅自治会と共に「カフェはんどめいど」を開催しています。

ものづくりが得意な人も、そうでない人も講師の指導のもとハンドメイド(手作り)の物づくりに挑戦しています。1月は牛乳パックを使用した小物入れづくりに挑戦しました。参加者は訪問支援員のサポートで互いに教え合いながら楽しく手を動かしていました。昨年の1月から始まったこのカフェも1年を迎え、現在は地域の方と仮設住宅へ入居している方の交流の場にもなっており、新たなお友達が増えたという声もあります。作品完成後のお茶飲みも楽しみのひとつとなり、集会所の中は、みんなでおしゃべりしながら手づくりをする素敵なひとときとなっています。



ボランティア・市民活動 センターだより

地域福祉活動推進者研修開催

1月26日(日)、老人福祉センターを会場に地域活動を担う人材育成の推進と協働事業の理解を深めるため「地域福祉活動推進者研修」が開催されました。

認定NPO法人宝塚NPOセンター理事・事務局長中山光子氏を講師に招き、市内民生委員・ボランティア団体・地域住民等が多数参加し、一日がかりの長い研修演習でしたが活発な意見交換が飛び交い盛会に終わりました。



♥収集ボランティアさん

「ご協力ありがとうございました」♥(敬称略)

プルタブ エコキャップ 使用済み切手

高橋真奈美 矢本第二中学校 狩野晃子 菅原由紀子
るきな会ディサービス ボランティア優遊 佐藤浩恵
加藤一枝 さくら会 高橋正勝 大江貞徳 佐藤一雄
グリーントウン仮設住宅 ひまわりコミュニティ
阿部政彦 田中建治 今野賢人 阿部宣子
石巻郵便局 佐藤正己 奥田忠一 木村はちえ
高橋忠子 小松台ガッツ会 田村心優 田辺恵美子

今後ともご協力宜しくお願い致します!!

information い ん ふ お め ー し ゃ ん information

機能回復訓練事業参加者・ボランティアスタッフ募集!!

機能回復訓練事業は、疾患などで身体の機能が低下してしまった方々が、毎月2回(第2・第4火曜日)集まり、リハビリ体操や社会見学等を行い、毎回笑顔で楽しいひと時を過ごしています。

募集内容	機能回復訓練事業参加者	機能回復訓練事業ボランティアスタッフ
	原則的に、杖等を利用して自力で歩行できる方が対象となります	運営スタッフと一緒に、訓練参加者の見守り等をしていただきます。
興味のある方は、是非お問い合わせ下さい。◇お問い合わせ先 TEL 25-4312 担当:齋藤		

緊急小口資金特例貸付を借入中の方へお知らせ

震災により被災された方々を対象に無利子で貸付致しました緊急小口資金特例貸付の償還が始まっております。最終償還期限を過ぎると、延滞利子が発生しますので、期限内に償還されますようお願い致します。ご不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

◇お問い合わせ先

東松島市社会福祉協議会 生活福祉資金担当

TEL 83-2851

宮城県社会福祉協議会 資金管理係

TEL 022-216-5100

⌘ 職員募集 ⌘

東松島市社協では、地域福祉向上のために私たちと一緒に働いてくださる方を募集しています。

職種	勤務形態	勤務時間
社会福祉士	臨時常勤	8:30~17:15
介護支援専門員	臨時常勤	8:30~17:15
	臨時短時間	9:00~16:00
ホームヘルパー(ホームヘルプ-2級以上)	臨時常勤 または登録	勤務表による

※応募される方は、履歴書を郵送または持参してください。

◇お問い合わせ先

社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

住所:東松島市小松字上浮足252-3

TEL:83-2851